

年 組 名前

2021年9月6日付市民版他



@名港水族館

## クマザサハナムロ

### ②5 体の色に感情出ます

**クマザサハナムロ**  
ススキ目タカサゴ科。  
体は細長く、体長は30センチほど。尾びれの上下の中央に黒っぽい帯状の模様があるのが特徴。沖縄の海を含め、太平洋やインド洋の岩礁やサンゴ礁で大きな群れをつくって泳ぐ。沖縄県では唐揚げとしてよく食べられる。

青い魚も赤い魚も、ぜんぶ僕だよ。興奮すると「色素胞」という細胞の色が変化して赤くなるんだ。青色はきれいだけど赤色はちょっと怖いって？ そんなこと言われるとイライラして、赤くなっちゃった。  
はあ、落ち着いてやっと青色に戻ったみたい。こうして普段は青色だけど、エサを食べる時や、夜に寝る時に赤色になるんだ。  
群れであっちこっち泳ぎながら目まぐるしく色が変わるから、見失わないでね。水槽にはよく似た仲間の「タカサゴ」と「ササムロ」もいるから見間違えないで。ほら、君がちゃんと見てくれたから、赤くなってきちゃった！

写真・桜井 泰  
文・梶山 佑

※ 大人の人に記事を読んでもらって考えましょう。

問い：クマザサハナムロという魚は、どんな時に青色から赤色に変わるのでしょうか。